

鈴 鹿 大 学

Suzuka University

同 窓 会 会 誌 No.15

令和 2 年 3 月 発行



目 次

1. 会 長 挨 拶	2
2. 副 会 長 挨 拶	3
3. 役 員 紹 介	4
4. 平 成 29 年 度 収 支 報 告	5
5. 平 成 30 年 度 収 支 報 告	6
6. 25周年記念式典 開催しました	7
7. 恩 師 からの 寄 稿 part1	11
8. 恩 師 からの 寄 稿 part2	12
9. 近 況 報 告	13
10. 会 長 の 趣 味 雑 談		
~ 徒 然 なる まま に ~ Vol.5	14
11. 編 集 後 記	15



1. 会長挨拶

同窓会員のみなさま、ご機嫌いかがでしょうか？

まずお伝えすべきことは、今年度、鈴鹿大学は開学25周年を迎えました。それに伴い、2019年11月には、開学25周年記念式典が開催されました（詳しくは7～10ページの今光先生からの報告をご参照ください）。

余談ではありますが、2019年に同じく25周年を迎えたモノ・コトを少しググってみました。

代表的なものを少し。まず、日本国内で見ても、いまや家庭用ゲーム機として確固たる地位を確立されているPlayStationですが、その初号機が発売されてから25年。ほかにも、有名なところでは“♪ハト麦、玄米、月見草～♪”のCMでお馴染みの「爽健美茶」も全国発売が開始されてから25年だそうです。

さらに、世界に目を向けてみますと、“音速の貴公子”と称されたF-1レーサー、アイルトン・セナの悲劇の事故死から25年、太平洋に浮かぶ島国・パラオ共和国が独立25周年、いまや世界の流通最大手とも言われる大企業Amazonの前身企業が設立されて25年…。

国内外でも様々な動きがあった1994年に本学は「鈴鹿国際大学」として、産声をあげました。

あれから25年。開学以降、幾多の学部・学科の改組を繰り返し、2015年に「鈴鹿大学」と改名した現在、本学の置かれている状況はどうでしょうか。あくまで、私の個人的見解ですが、更なる知名度・好感度の向上が最重要課題ではないでしょうか。聞いた話ですが、地元であるはずの三重県内でも本学の知名度はあまりよろしくないようで、さらに地元選出の国会議員ですら、つい最近まで本学の存在を認知されていない方がいらっしまったのだとか…。

近年では、いくつかの強化クラブの活躍が期待されていますが、根本的な部分は、本学教職員の方々が中心となって、いかに本学をより魅力ある大学となるように運営をして頂けるかどうか委ねられているのではないのでしょうか？良いサイクルに乗れば、本学の知名度の向上に繋がり、さらなる25年＝50周年に向かっていくのではないかと思います。

そのためには、本会でも出来る限りの協力体制は整えていく所存でございます。その第一弾として、昨年度総会にて、同窓会資金を原資とする寄付行為が可能にできるよう改定いたしました。

その他、現在は参加率の低下により、実施の見送りが続いてしまっておりますが、会員のみなさま向けの企画等も増やしていければと考えております。大学同窓会の発展のため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



（「母語継承語スピーチ発表会」に審査員として参加して・・・）

鈴鹿大学同窓会 鈴風会
3代目会長 石橋 賢一郎

2. 副会長挨拶

同窓会員のみなさま、いかがお過ごしでしょうか？私が同窓会の活動に携わって約10年になります。ここまで続けることができたのも皆さんのおかげと心から感謝をしています。

さて、今年度は大学にとっても同窓会にとっても大きな節目を迎えた年といえるのではないかと思います。令和元年11月23日には、鈴鹿高校で鈴鹿大学開学25周年記念式典が盛大にとり行なわれました！一方同窓会の活動としては、会則にこれまでなかった寄付金の規定を作成し、依頼のあったものへ寄付をさせていただきました。また、25周年のお祝いへと、同窓会から寄付しました。

また、2016年度から始めた仮装コンテストも今ではすっかり定着をし、今年度はたくさんの方々に参加をしていただきました！さらには、「第22回鈴鹿大学外国人日本語スピーチコンテスト」の審査員をさせていただいたことで、審査に関わられた様々な方との交流がありました。そして、毎年の課題である留学生の同窓会入会も、直接関わる交流を通して、同窓会活動の周知やアピールにつながったと確信をしています。

まだまだ課題がたくさんありますが、長い目で見ていただければ幸いです。今後ともよろしく願いをいたします。



(「外国人日本語スピーチコンテスト」に審査員として参加して・・・)

鈴鹿大学同窓会 鈴風会
副会長 樋口 敦俊

3. 役員紹介

会 長	(H18 卒)	石 橋 賢一郎
副 会 長	(H17 卒)	樋 口 敦 俊
書 記	(H23 卒)	近 藤 貴 子
監 事	(H10 卒)	林 明 幸
監 事	(H17 卒)	加 藤 聖 大
幹 事	(H18 卒)	真 柄 正 樹
幹 事	(H22 卒)	長 岡 布由子
幹 事	(H24 卒)	庵 原 雅 之
幹 事	(H27 卒)	藤 崎 佑 真
幹 事	(H28 卒)	青 山 桃 子
幹 事	(H28 卒)	李 羲 受
幹 事	(H28 卒)	上 田 佑 亮
幹 事	(H29 卒)	早 川 明日香

平成29年度鈴風会決算報告書

自：平成29年4月1日
至：平成30年3月31日

収入		支出	
日付	項目	日付	項目
4月1日	平成28年度からの繰越	9月28日	学祭企画関連経費
	¥25,025,556	10月18日	学祭企画関連経費
4月1日	ゆうちょ 利息		学祭企画関連経費
	¥6	11月17日	懇親会費
8月14日	百五銀行 普通預金利息	11月21日	卒業記念品代
	¥56	3月2日	振込手数料
8月22日	百五銀行 定期預金利息		
	¥856		
10月1日	ゆうちょ 利息		
	¥6		
2月13日	百五銀行 普通預金利息		
	¥56		
		3月31日	平成30年度へ繰越
			¥24,792,779
収入	合計	支出	合計
	¥25,026,536		¥25,026,536

現金・口座残高合計 (平成30年3月31日締)	
現金	¥34,803
ゆうちょ 普通	¥1,441,275
百五銀行 普通	¥13,123,275
百五銀行 定期預金	¥10,118,426
ゆうちょ 当座	¥75,000
合計	¥24,792,779

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの鈴風会の決算を監査しましたところ、諸帳簿・証憑書類の事実には相違ない事を認めます。

監査者 林 明幸



加藤 聖大



監査日 平成30年 4月 22日

平成 30 年度 鈴 風 会 決 算 報 告 書

自：平成30年4月 1日
至：平成31年3月31日

収入			支出		
日付	項目	金額	日付	項目	金額
4月 1日	平成29年度からの繰越	¥24,792,779	5月10日	パソコン購入費	¥196,000
4月 1日	ゆうちょよ 利息	¥6	5月10日	百五キヤッソエカード再発行費	¥1,080
8月13日	百五銀行 普通預金利息	¥55	9月18日	印刷費(学祭企画チラシ印刷代)	¥34,560
8月22日	百五銀行 定期預金利息	¥856	9月18日	学祭企画費(仮装コンテラスト景品)	¥3,000
10月 1日	ゆうちょよ 利息	¥6	9月25日	学祭企画費(仮装コンテラスト景品)	¥17,000
2月12日	百五銀行 普通預金利息	¥55	9月25日	学祭企画費(仮装コンテラスト景品)	¥15,750
			9月25日	学祭企画費(仮装コンテラスト景品)	¥4,850
			9月25日	学祭企画費(仮装コンテラスト景品)	¥1,980
			10月29日	学祭企画費(スタンプラリー景品)	¥46,428
			11月12日	懇親会費	¥31,449
			2月20日	卒業記念品	¥51,559
			2月20日	振込手数料	¥540
				平成31年度へ繰越	
			3月31日		¥24,389,561
収入合計		¥24,793,757	支出合計		¥24,793,757

現金・口座残高合計 (平成31年3月31日締)	
現金	¥38,803
ゆうちょよ 普通	¥1,441,287
百五銀行 普通	¥12,715,189
百五銀行 定期預金	¥10,119,282
ゆうちょよ 当座	¥75,000
合計	¥24,389,561

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの鈴風会の決算を監査しましたところ、
諸帳簿・証憑書類の事実に相違ない事を認めます。

監査者

林 明幸



加藤 聖大



監査日 平成31年 4月 20日

5. 平成30年度収支報告

6. 「鈴鹿大学創立 25 周年記念式典・記念講演会」を開催しました

実行委員長 今光俊介

令和元年11月23日(土)に鈴鹿高等学校ベルホールを会場として、午前10時から記念式典、11時30分から記念講演会が開催されました。絶好の青空の下、行政、県内各企業、大学、高校の関係者およそ300人が集まりました。

世界に通用する人材教育に力を入れる鈴鹿大学では語学力、コミュニケーション力、異文化理解力などを着実に身につけられる教育が一貫して提供されています。2018年度末で4,083人の卒業生が旅立ち、国内外で活躍しています。

式典の冒頭では、市野理事長が国際社会や地域社会の問題解決にビジネスと教育の分野で貢献することの出来る職業的・専門的な人材の育成に全力を注ぐ決心を新たにしました。渡邊信一郎 三重県副知事、末松則子 鈴鹿市長、小出秀文 日本私立大学協会常務理事から祝辞を頂戴した後、名古屋音楽大学名誉教授でオペラ歌手の山本みよこ様と、津市出身で和太鼓奏者の服部博之様による祝賀演奏がありました。

記念講演会の講師を務めて頂いたのは元アーティスティック・スイミング選手の武田美保様です。武田様は、アトランタ、シドニー、アテネの3つのオリンピックでメダルを獲得され、輝かしい記録を残されています。子供時代から現役時代までの経緯を軽妙にお話し下さり、夢の実現にあたって母親やコーチの存在が大きな支えとなったことをご披露下さいました。

講演を聞いた学生の一人は「常に私のことを温かく見守ってくれる人がいることがわかり、勇気づけられた。今後は今まで以上に努力して、世界を股にかける仕事に就く夢を叶えたい」とアツイ意気込みを語ってくれました。

私たち教職員も、引き続き主体性を持った学生を育て、地域により深く根ざした大学として存在出来る様に努力致します。



(三重県副知事 渡邊信一郎氏 祝辞)



(鈴鹿市長 末松則子氏 祝辞)



(日本私立大学協会常務理事 小出秀文氏 祝辞)



(祝賀演奏：名古屋音楽大学名誉教授・オペラ歌手 山本みよこ氏)



(祝賀演奏：和太鼓奏者 服部博之氏)



(記念講演：武田美保氏)

7. 恩師からの寄稿 part1

人作りなくして国造りなし：千人教育をラオスで実践

鈴木基義

ラオスビジネス商業大学 理事長・学長／ラオス計画投資大臣 特別顧問
(元・鈴鹿国際大学学長)

ゼロ円携帯を教員の皆さんに配り、欠席する学生さんには「おいでコール」、教職員の皆さんと学長車に乗り込み、欠席が続く学生さんの下宿や自宅まで押しかける「突撃自宅訪問」、学食などに設置した学長直行投書箱「VOICE」、学長の携帯番号とメールアドレスの公開、学生さんや保護者の意見や悩み、課題、大学改革案を聞くための「突撃学長室訪問」「24時間365日営業」など鈴鹿国際大学の思い出は尽きません。留学生の多国籍化や本学の学生の海外研修を後押しするためのプログラムを教職員の皆さんと団結して実施にこぎつけたり、趣味を活かしてボディビルクラブを立ち上げ、学生たちと毎晩汗を流しました。武道しか経験のない私が男子バレー部の部長に就任させていただき、土日の試合に声がかかるまで応援。鈴鹿国際大学には県下唯一の気球部があり、将来性のあるミュージシャンのコンサートを毎年誘致開催する鈴鹿国際大学は今振り返っても魅力的で、盛りだくさんのアイデアと行動力に満ちた大学でした。それを支えたのが教育熱にあられる教職員とエネルギー溢る学生たちでした。

さて私は、2005年に鈴鹿国際大学を退職した後、ガーナ財務経済計画省に上級顧問として奉職しました。私の専門は開発経済学ですが、この学問はアフリカのサブサハラを研究対象にして産まれたものです。私はタイの国立タマサート大学に留学したことからはじまり、アジアの現場にはそれなりの専門知識と経験を有していますが、アフリカは未知の世界であり、自分の専門性を深めるためにどうしてもアフリカでの長期滞在が不可欠でした。そうした折、ガーナの国家開発計画の策定支援と官僚の育成に力を貸して欲しいという依頼が外務省から寄せられ、ガーナに赴任することになりました。帰国後、広島大学大学院国際協力研究科の教授として奉職しましたが、やはり開発の現場が恋しく、エボラ出血で有名な西アフリカのシエラレオネ財務経済開発省に奉職しました。シエラレオネは本当に貧しい国でした。毎日12時間以上続く絶望的なまでの停電や、ひどいときには3週間も一滴も水が出ない水道にはトイレや毎日のシャワーにすら困り果てました。アフリカでは、生活すること自体が仕事であると甘くない環境を呪ったこともあります。シエラレオネに赴任した1週間後に2歳の長男がマラリアに罹患した同じ日に妻と私が腸チフスを発症し往生しました。交通事故などで重傷を負ったときなど、シエラレオネでは十分な医療は受けられるはずもなく、週に2便しかないロンドン便に運よく搭乗できなければ、ここで息を引き取るしかないと覚悟を決めていました。しかし開発の現場とはそうしたものであると諦観している私とはもかく、家族まで犠牲を強いるのは酷であったのかもしれない。しかしシエラレオネをベースにガーナとリベリアの3か国を巡回し、3国の国家開発計画と官僚育成を行う任務は、創造性に富み、生き甲斐に満ちたもので、開発経済学者としてとことん鍛えられました。

2011年にシエラレオネの任務を完了し、ラオス計画投資省に戻りましたが、私とラオスとの関わりは、これよりもずっと古く在ラオス日本国大使館に奉職した30年前の1990年にさかのぼります。この間、熱意はあるのに貧しくて進学できない若者を多く見てきました。国の基本は人。高等教育を受けられるのは一握りの富裕層だけという状況を変えなければならない。思いは使命感に変わりました。自分の原点であるJICA専門家を辞し、私財を投じて私立大学を設立、理事長兼学長に就任しました。一人当たりの国内総生産(GDP)が年2500ドル(約25万円)と開発が遅れるラオスでは、年500ドル(5万5000円)の学費を工面できない人も多い。日本企業様からの暖かい寄付と自身の蓄えとで学生全員の授業料を全額無料にしています。「人作りなくして国造りなし。この国の人造りに残りの人生をささげる」ことを誓います。

末筆になりましたが、学生一人ひとりを大切にする「千人教育」と、単なる偏差値で学生のすべての価値を決めつけない「オンリー・ワン戦略」を通じた鈴鹿国際大学の発展に寄与された教職員と学生さんに心から感謝申し上げますとともに、これからも地域の皆様のご理解とご協力を得て、新しい鈴鹿大学が益々発展することを祈念申し上げます。



ガーナ財務経済計画省：国家開発計画策定支援



ラオスビジネス商業大学の新入生：授業料全額無料

8. 恩師からの寄稿 part2

「リーダー」と「メンバー」

鈴鹿大学 国際地域学部 専任講師

小野 圭久

組織を取り巻く環境が激しく変化し、メンバーの欲求も多様化している現代では、とりわけリーダーシップが重要な役割を果たす。リーダーシップは、一般的に一人のリーダーによるトップダウン的なイメージが強いが、そのような「支配的」なリーダーシップが効果的なのはメンバーが未熟な段階であり、メンバーの成熟度が高くなるに伴い、仕事遂行の責任はメンバーに委ねるべきだとされている。また、環境の変化が激しい現代では、メンバーの話を真摯に聞かないリーダーは、環境の変化を素早く察知することができず、打ち出す方向性にズレが生じやすくなってしまふ。

2011年、なでしこジャパンをW杯優勝に導いた佐々木則夫監督の「下（横）から目線」の指導法として、サーバントリーダーシップが一躍注目を集めた。まずはメンバーに奉仕して、その後にメンバーを導くといったスタイルである。また、一人のリーダーに依存するのではなく、チームのメンバーが必要に応じてリーダーシップを発揮するシェアードリーダーシップというスタイルもメンバーの成熟度が高いチームで効果を発揮する。

このように、リーダーシップは、リーダーが置かれている状況やチームをとりまく環境や課題、メンバーの成熟度などによってスタイルを変化させる必要がある。また、リーダーの伝える意味や気持ちは、メンバーが受け取るようにしか伝わらない。リーダーは相手中心の考え方で語りかけ、メンバーの成熟度を高めていく努力が必要であろう。

近年、メンバーシップやフォロワーシップという言葉も耳にするようになった。心理学においてリーダーシップとは、「集団の活動に影響を与える過程」と定義されている。一人のリーダーよりも多数のメンバーやフォロワーの方がチームへの影響力は大きく、メンバーやフォロワーの活動が成果の大きさを左右するというものだ。

人種、国籍、職場、家族など、誰もが何らかの組織（チーム）に所属するメンバーの一人である。組織は小規模であればあるほどメンバー一人あたりの影響力は大きくなり、その影響力は無意識のうちに与え得るものである。このように、自分自身が影響力を与えているメンバーの一人である以上、「ポジティブな影響力」を与えるべきであり、それは組織が目指す目標の達成に向けた「貢献意欲」と言い換えることができよう。

著名な経営学者であるバーナードは、組織が成立する3要素として、「組織は、①相互に意思を伝達できる人々がおり（コミュニケーション）、②それらの人々は行為を貢献しようとする意欲をもって（貢献意欲）、③共通の目的の達成をめざすときに（目的）、成立する」と定義している。

この寄稿が、リーダーやメンバーのあるべき姿を再考し、自分自身のポジティブな行動変容のきっかけとなれば幸いである。



おの よしひさ
小野 圭久 三重県出身

- ・洛南高校
陸上競技 1500m、5000m、駅伝にて京都府高校記録樹立(1983)
- ・順天堂大学 体育学部 体育学科
- ・NTT 東海 陸上競技部 全日本実業団 1500m 7位(1988)
- ・八千代工業(株) 陸上競技部監督 日本選手権 1500m 優勝(2000)
- ・亜細亜大学 陸上競技部ヘッドコーチ・監督 箱根駅伝総合初優勝(2006)
- ・麗澤大学 陸上競技部監督 箱根駅伝関東学生連合チームから出走
(2014・2015)
- ・順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 博士前期課程修了(2016)
- ・鈴鹿大学 国際人間科学部 国際学科 専任講師 (2020年度から専任准教授)
- ・鈴鹿大学 陸上競技部陪員 女子駅伝チーム監督(2019)

9. 近況報告

「悪夢の一年」

皆さんこんにちは、庵原です。卒業してから身体障害者福祉工業で梱包・出荷それからY会社の社内で回す仮結等の準備をしています。Y会社の準備は前任者の教えが悪かったので、後から作業をする人から怒られることがたまにあります。

ずーっと立ちばなしだったので18年の8月に足底腱膜炎になりました。そして、19年2月に脳静脈瘤血栓症にかかり2週間の入院をしました。入院してなかったら、クモ膜下出血になっていたかもしれません。

職場からは、腱膜炎のとき、出荷担当は、私だけだと決めつけており、診断書を出しても、サブも置いてくれず、梱包のやり方を教えても、事務員が少ししかやってくれず、痛みで半休をとっていました。

血栓症のほうは、2歳のときもかかってたみたいで、同じ病に2回かかると薬を一生飲まないとなりません。副作用は、20種類以上あり、吐血・頭痛・目のぼやきや痛み等です。学生時代じゃなくて良かったと思う副作用は、吐血です。何故なら、5分から2時間間隔・歩いたり・電車や車で揺れたり・話しても吐血をしますから、遊びたくても、初めての場所は、トイレの場所確認をしなければなりません。飲食したら、少し治りますが、たまにしかありません。寒暖差が大きいと頭痛・目の症状が出るので困っています。睡眠時間が2時間となってきてましたから、現在は始めの薬の量の4分の1に減らしてもらっています。

職場で困ってることは、梱包箱が決められているのに、わざと違う箱に入れてくる人や、ある事務員・私だけが知っている部品の隠し場を勝手に見てくる人がいるのでやめてほしいです。その人たちには、何十回も言いましたが直りません。報復措置が出来ることを願っています。

(15期生 庵原 雅之)

「鈴鹿大学を卒業してから今現在まで」

私は、14期生・書記の近藤貴子です。

令和1年6月5日から、柿安で働いています。仕事内容は、箱折りと賞味期限のチェックとベタベタチェックをしています。

2018年9月29日(土)から2019年11月30日(土)まで「ファミリアの家川越」のグループホームにいました。2019年12月(日)から「ファミリアの家第2蓮花寺」のグループホームにいます。桑名で、女性専用のグループホームでとてもよかったです。

私は、自立のために、グループホームに入りました。実家とファミリアの家第2蓮花寺のグループホームと柿安でこれからもずっと頑張ります。

桑名で、毎年1回桑名市民会館(NTN)ホールで、「シャンテ・クレール合唱団」で歌っています。そこでは、トップソプラノのパートをしています。

四日市で、毎年1回四日市文化会館第1ホールで「四日市の第九」で歌っています。

よろしければ皆さんお聞きにいらしてください。



(14期生 近藤 貴子)

10. 会長の趣味雑談

～ 徒然なるままに ～ Vol.5

◆魅惑多き「甘ロワイン」

数年前、私の突発的な思い付きから始まったこの企画も5回目となったのだが、今回は私の得意分野とも言うべく「甘ロワイン」についていろいろと述べていきたいと思う。

まず、一言に「甘ロ」と言っても、代表的なものでは、フランスのソーテルヌ、ドイツのトロッケンベーレンアウスレーゼ、ハンガリーのトカイワインの世界三大貴腐ワインに始まり、カナダやドイツで有名なアイスワイン、さらにポルトガルのポートワインなどに代表される甘さも保ちつつアルコール度数も上げた一部の酒精強化ワイン、あえて収穫を遅らせて作るレイトハーベストなどと様々な種類が存在する。また、ねっとりした極甘ロから、さらっとした爽やかな程よい甘さのものまで、口当たりも多種多様である。この手の甘ロワインは、一般的に「デザートワイン」と、ひとくくりにされることがある。それは主に食後酒として飲まれることを前提とされているからであるが、私は他のワインと同様に様々な料理との組み合わせを楽しむ事も出来ると考えている。

また、一般的なワインと比べて、生産できる量が少なくなることから、価格もそれなりに高くなる傾向がある。その中でも特筆すべきは、フランス・ソーテルヌの貴腐ワインである「シャトー・ディケム」であろう。一般的には白ワインに分類されるのだが、独特な琥珀色が特徴的な極甘ロで、ビンテージ(生産年)によってはハーフボトル(375ml)で1本3万円以上の値が付き、群を抜いて高価である。私自身も、同じソーテルヌの貴腐は何度か飲んだことはあるが、ディケムについては残念ながら手は出せていない。口当たりについては、「極上の味わい」と聞いている。一生に一度は飲んでみたい1本である。次回執筆する時までには飲んでみたいものだ…。

願望はここまでにしておき、次に私が今までに飲んだ事のある甘ロワインの中からいくつか紹介していきたい。

まず、ワイン初心者の方々にオススメしたいのは、モスカート・ダスティである。イタリアの微発砲甘ロワインで、その名のとおり、マスカットを主原料としているワインである。その中でも、ボトルのデザインに特徴のある「チェレット・モスカート・ダスティ」をおすすめしたい。バローロやバルバレスコなどの赤を得意とするワイナリーで作られている白泡で、アルコール度数も5%前後と低く、飲み口もスッキリしているため、万人受けしやすい1本である。極限までキンキンに冷やして飲むのが最高である。どのビンテージでも、ハーフボトルで2000円前後、フルボトル(750ml)でも3000円前後と、価格も安定していて入手しやすい。ビンテージによって、甘味の差がはっきりとわかるので各ビンテージの違いを探してみるのも面白いかも…。

次に、ドイツ甘ロの最高峰(と考えている)、「トロッケンベーレンアウスレーゼ」をおすすめしたい。

ドイツ国内の規格で、糖度の低い順に「カビネット」→「シュペートレーゼ」→「アウスレーゼ」→「ベーレンアウスレーゼ」→「トロッケンベーレンアウスレーゼ(TBA)」となり、製造方法の異なるアイスワインを除くと、実質ドイツ甘ロの最高峰と言っても過言ではない。また、いずれも補糖がないため、果実本来の濃厚な甘味を味わえる点も評価が高い。生産量やビンテージなどの点で1本数万円のものもあるようだが、一般的に、ハーフボトルで3000～5000円前後あたりが相場だろう。一番のオススメは、と言われれば、オーストリア・エスターハーギーのTBAをおすすめしたいのだが、残念ながら、今現在国内で入手するのはほぼ不可能であろう。今回は「ドイツの…」として紹介している以上、ドイツのTBAからチョイスするならば、華やかな見た目より「中身」で勝負という姿勢の表れなのか比較的質素なラベルが多いドイツワインの中で、金色に輝くラベルが特徴的なヴァインハイマー・フクセレーベである。1本3500円前後で入手しやすく、コスト面でも最高である。

次に、レイトハーベストから1本紹介したい。アメリカ・カリフォルニアのKENZO ESTATEの夢久(むく)である。日本のゲームメーカー、カプコンの創業者・辻本憲三氏が所有するワイナリーとして有名である。数年前のカリフォルニア森林火災で甚大な被害を受けたにも関わらず、見事な再起を果たしたワイナリーが展開する唯一の甘ロである。味についてはここでウンチクを語るまでもなく、純粋に、今まで経験したレイトハーベストの中で最高峰であると感じている。現在のところ、ハーフボトルのみの展開で1本税込5500円。入手難易度としては、上記2本と比較するとやや難しいかもしれないが、国内店舗や公式オンラインなどでも購入できる。

最後に、今回この記事の内容を甘ロワインに決めた理由とも言うべく、お気に入りの一本を紹介したい。

ニュージーランドの甘ロワイン、プロフェッツ・ロックの「ヴァン・ド・パイユ」である。世界最南端の産地と言われているニュージーランド南島の内陸部に位置するセントラル・オタゴの比較的新しいワイナリーである。

1300kgの原料を700kgまで凝縮し、約13か月間熟成という途方もない工程を経て作られるワインは、貴腐とは全く異なる製造方法ではあるため、貴腐ほどのねっとり感はありませんが、貴腐に引けをとらない濃厚な甘ロワインである。また、生産量は極端に少なく、ハーフボトルで767本しか生産されておらず、日本に入荷したのもわずか100本程度なのだから。希少性という点では、ディケムといい勝負である。故に価格も、1万円前後と、それなりの値段が付いている。今回紹介した中では、入手難易度は最高難度であると思っている。

最後に、この記事をきっかけに甘ロワインに興味を持っていただける方が一人でもいらっしゃるとありがたい。

11. 編集後記

何度も書いているが、今年度は、鈴鹿大学にとって開学25周年という記念すべき年であった。同窓会長という立場、記念式典にも参加させて頂いたのだが、式典会場は「鈴鹿高校」であった。大学のための式典なのになぜ高校で？…という少々複雑な気持ちもあった。しかしその裏では大学では開催できない様々な諸事情・ご苦労があったのだと推測する。

いずれにせよ、我々が、ああだこうだ言える立場ではなく仕方ない事である。記念式典自体は、とても素晴らしいものであったので、式典運営に関わられた教職員の方々に敬意を表するとともにお礼を申し上げたい。

今回、会誌を執筆するにあたって、常々「マンネリ感」があることを否めないまま進めていた。そこで、まずは手始めとして本誌のところどころに出てくる、学内の写真を一新してみた。いかがでしょうか？すべて私（会長）の個人的視点で撮影したものであるの、ツッコミどころが多々あるかもしれないが、そこはご承知おきを。

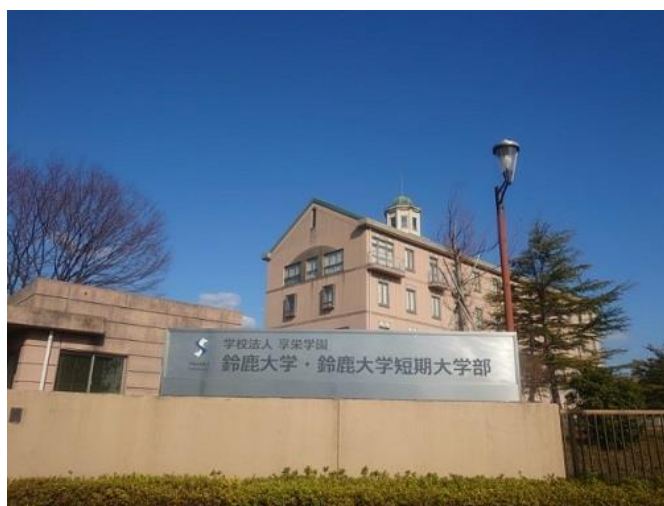
学内の写真を眺めつつ、学生時代の様々な思い出にふけていただけたら幸いである。また会員の皆様で、学内のベストショットをお持ちの方は、次回以降の会誌に使用させていただきますので、ご協力いただけますと幸いです。

さて、本誌の見どころはというと、なんとといっても現在ラオスでご活躍中の元学長・鈴木基義先生からご寄稿いただいたことだろう。お忙しい時期に、急なお願いを快く引き受けて頂いた鈴木先生のおかげで中身の濃い会誌となりました。初回原稿をいただいてから、何度も校正を重ね、とても素晴らしいものに仕上げさせていただきました。ありがとうございました。

さらに昨年度から本学に赴任されていらっしゃる小野先生、また、25周年式典の記事については今光先生のご協力の下、今年度の会誌は完成いたしました。お忙しい中、本誌のためにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

多くの方々のご協力のもと、会誌編集を行ってきたが、本誌執筆中、更なる苦難に見舞われた。それは、コロナウイルスによる影響である。全国的・全世界的に、大規模イベントや行事の自粛や延期ムードが蔓延中、本学も例外なく卒業式が中止となってしまった。その影響で、すでに準備が整い大学側へ納品済みだった卒業記念品（本来なら学位記と一緒に渡していただけた予定だった物）も本会から発送しなければならなくなった。そのため、発送準備などで現場はてんやわんやである。当然、想定外の出費も発生することになるが致し方ない。そんなドタバタ劇を乗り越え、どうにかこうにか会誌の完成に辿り着けたことに、ホッと一安心である。

が、安心も束の間、次号に向けてのネタ集めを始めなければ……。兎にも角にも、次号も乞うご期待。



鈴鹿大学同窓会「鈴風会」事務局

E-Mail : siu_reihukai@yahoo.co.jp

※同窓会への各種連絡、問い合わせに関しては、メールにてお願い致します。